保管用

施工説明付き

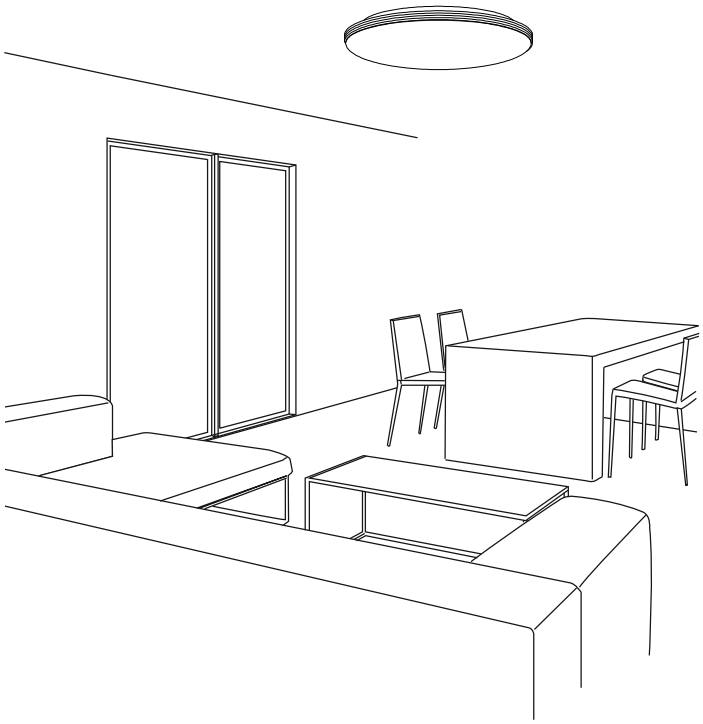
DAIKO
大光電機株式会社

取扱説明書

住宅用照明器具
(シーリングライト)

LEDシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を参照ください



※イラストはイメージです。

もくじ

安全上のご注意 ---------- 2

各部のなまえと付属部品 ---------- 3

照明器具を取り付ける ---------- 4

照明器具を取り外す ---------- 6

各部のはたらき ---------- 6

あかりをつける ---------- 6

チャンネルの設定方法 ---------- 8

故障かな?と思ったら ---------- 9

点検とお手入れ方法 ---------- 9

ご使用上に関するお知らせ ---------- 10

仕様 ---------- 裏表紙

保証とアフターサービス---------- 裏表紙

お客様へ

このたびはお買い上げいただきまして、
まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」（2〜3ページ）を必ずお読みください。
本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

■本説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

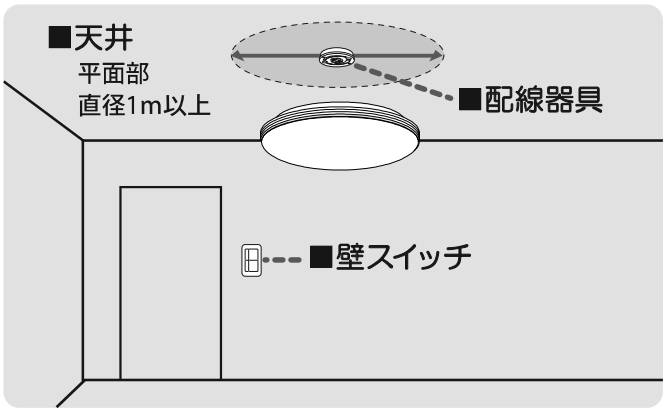
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警 告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注 意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（下記は図記号の一例です。）

禁止	してはいけない内容です。
必ず守る	実行しなければならない内容です。

⚠ 警 告



■天井

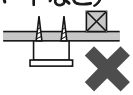
必ず守る
- **●必ず上図のような平面部の直径が1m以上の天井に取り付ける**
  落下によるけがのおそれがあります。

禁止
- **●凹凸のある場所に取り付けない**
  落下によるけがのおそれがあります。



※竿縁天井用取付パーツ（別売：品番DP-42433）を使用した場合は 竿縁天井に取り付けできます 詳細は竿縁天井用取付パーツの取扱説明書をご参照ください。

禁止
- **●補強のない場所（ベニヤ板や石こうボードなど）に取り付けない**
  落下によるけがのおそれがあります。



- **●傾斜した場所に取り付けない**
  火災、落下によるけがのおそれがあります。
  ◎この器具は水平天井面取り付け専用です。



※傾斜天井用取付パーツ（別売：品番DP-42432）を使用した場合は 45度までの傾斜天井に取り付けできます 詳細は傾斜天井用取付パーツの取扱説明書をご参照ください。

■配線器具

禁止
- **●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない**
  火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

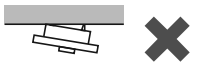


- **●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない**
  落下によるけがのおそれがあります。

内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの



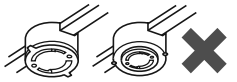
斜めに取り付けられたもの



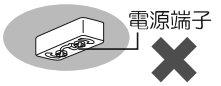
シーリングハンガーが取り付けられたもの



ケースウェイに取り付けられたもの

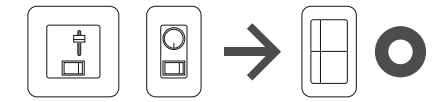


電源端子露出タイプ



■壁スイッチ

必ず守る
- **●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する**
  火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
（取り外しには資格が必要です。）

■その他

分解禁止
- **●器具を改造したり、部品交換をしない**
  火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る
- **●異常を感じた場合、速やかに電源を切る**
  異常状態が収まったことを確認し、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご連絡ください。
- **●交流100ボルトで使用する**
  過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

必ず守る
- **●アダプタは確実に取り付ける**
  落下してけがのおそれがあります。
- **●本体は確実に取り付ける**
  破損して感電のおそれがあります。
- **●本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける**
  破損して感電のおそれがあります。
- **●紙や布などの可燃物で覆わない**
  火災の原因となります。

⚠注意

必ず守る

●照明器具には適正交換時期があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

●付属の梱包材は取り除いて使用する
火災の原因となることがあります。

●カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

禁止

●周囲温度−5〜35℃以外では使用しない
火災の原因となります。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●カバーを外した状態で点灯したLEDを長時間直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

接触禁止

●点灯中や消灯直後はLEDやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
◎お手入れは電源を切り、LEDやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

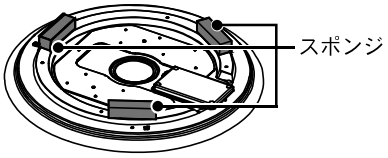
●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具

照明器具本体の裏面に付いているスポンジ（3カ所）は、取り外さないでください。本体の回転防止のために必要です。



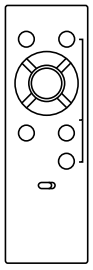
お願い

- アダプタは、専用（付属）のものを使用してください。専用のもの以外を使用すると、落下や破損する場合があります。
- 万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。
（壁スイッチを一度切るか、壁スイッチがない場合は、電源コネクタを一度外し、取り付け直してください）

リモコン付属部品

リモコン
(1個)

操作方法は、6〜9ページ参照

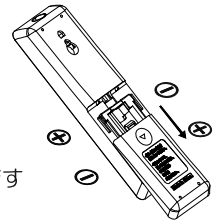


単4形
乾電池
(2本)

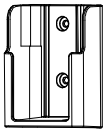


※動作確認用です

●リモコンのフタを開けて、単4形乾電池を2本入れる。



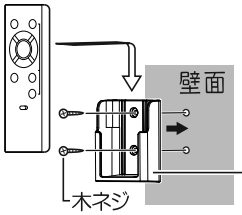
リモコン
ホルダー
(1個)



リモコン
ホルダー用
木ネジ(2本)



●リモコンホルダーを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。 ☞10ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する

天井に右記のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

→ 2 の作業へ進んでください。

右記以外の配線器具の場合、または、配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

◎販売店、工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

天井からの出しろが 22 mm の配線器具		天井からの出しろが 11 mm の配線器具
丸型フル引掛シーリング	丸型引掛シーリング	引掛埋込ローゼット
フル引掛ローゼット	角型引掛シーリング	引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

引掛刃（2ヵ所）を配線器具のスライド穴に入れる

②**カチッ**と音がするまで

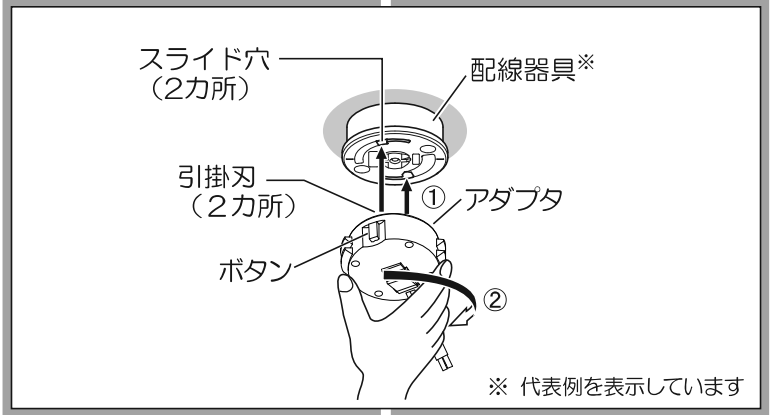
アダプタを右に回して取り付ける

確認 **ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する**

⚠ 警告

アダプタは確実に取り付ける

落下してけがのおそれがあります。



3 アダプタに本体を押し上げて取り付ける

アダプタに本体の穴を合わせて押し上げる

※配線器具により本体の取付位置が異なります。右記を参考に押し上げてください。

※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。

確認

本体を押し上げてもアダプタに取り付かない場合は、アダプタが正しく取り付けられていません。

→取り付けできない場合は、

(1) **アダプタを外す**

☞６ページ「照明器具を取り外す」手順 3 参照

(2) **再度、手順 2 を行う**

⚠ 警告

本体は確実に取り付ける

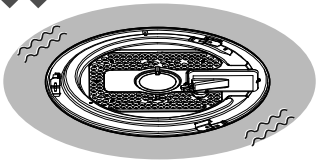
破損して感電のおそれがあります。



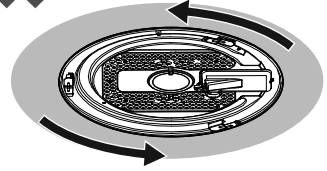


4 本体が正しく取り付けられているか確認する

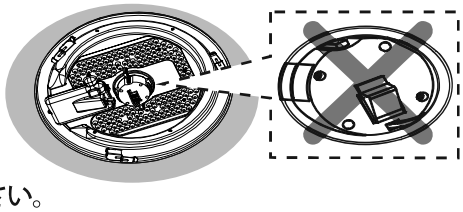
✖ 本体がグラグラする



✖ 本体が簡単に回転する



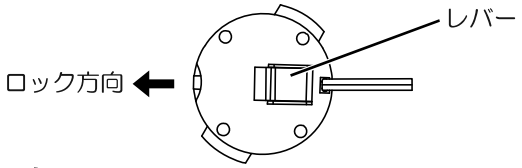
✖ アダプタと本体が斜めにずれている



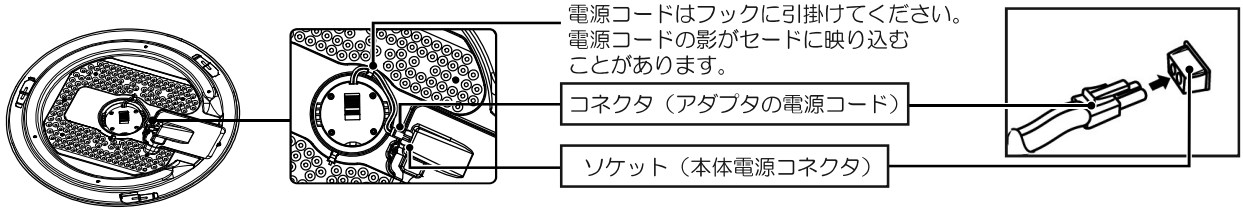
上図の場合、正しく取り付けされていないので再度、手順 3 を行ってください。

5 アダプタをロックし、コネクタと接続する。

① アダプタのレバーを「カチッ」と音がするまで
ロック方向へスライドして、ロックする。



② コネクタをソケットに差し込み、抜けないことを確認する。



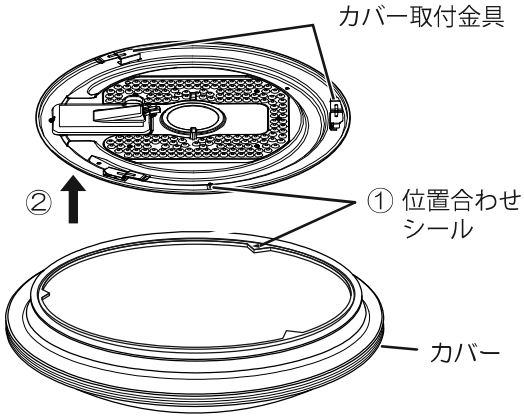
確認

●コネクタが差し込めない場合は、本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ手順 3 に戻る。
●本体がグラグラしている状態や簡単に回転する状態でコネクタを差し込んだ場合は、コネクタを外して（☞次ページ「照明器具を取り外す」手順 1 参照）、本体を押し上げる（☞前ページ手順 3 参照）。

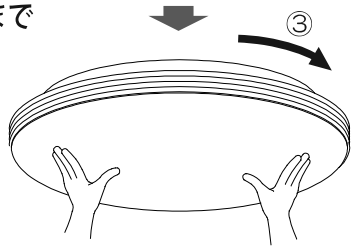
6 カバーを取り付ける

① 本体とカバーの
位置合わせシールを
合わせる

② カバーを持ち上げる



③ 「カチッ」と音が鳴るまで
カバーを右に回す



⚠ 警告

- **本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付ける**
  破損して感電のおそれがあります。
- **コネクタを差し込んだ後に、本体を回転させない**
  コネクタが外れて、発熱・発火の原因となります。

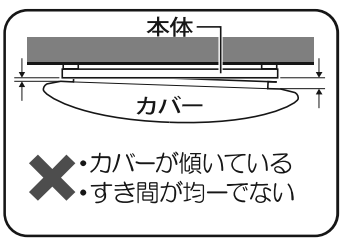
⚠ 注意

カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

確認

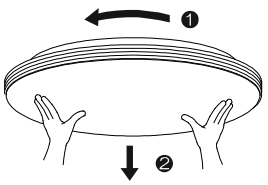
●カバーが1回転しても取り付けできない場合は、
本体が正しく取り付けられていません。
→取り付けできない場合は、
⑴**コネクタを外す** ☞ 次ページ「照明器具を取り外す」手順 1 参照
⑵**本体を押し上げる** ☞ 前ページ 手順 3 参照
⑶**コネクタを差し込む** ☞ 上記 手順 5 参照
⑷**再度、手順 6 を行う**

●カバーが傾いていないか、すき間が均一になっているか確認する。
→カバーが傾いたり、すき間が均一でない場合は、**カバーの凸部が受け具にはまっていない可能性があります。**
カバーを左に回して外し、再度、手順 6 を行う



カバーの外しかた

❶カバーを左に約20度回す
❷カバーを外す



確認

カバーが1回転しても取り外せない場合は、
本体が正しく取り付けられていません。
→取り外せない場合は、
本体を押さえながらカバーのみを左に回して外し本体を正しく取り付ける
☞ 左記 確認 手順⑴～⑶参照

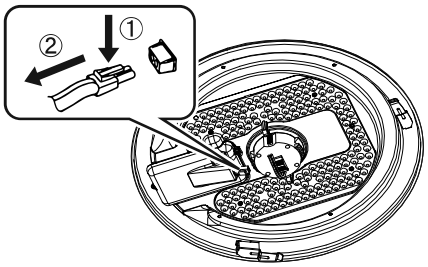
照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

1

コネクタを外す

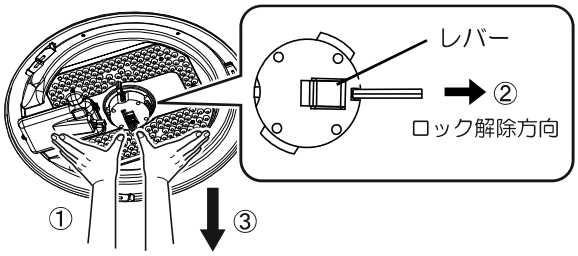
①つまみながら
②引いて、外す



2

本体を外す

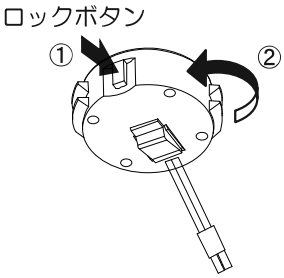
①本体が落ちないようにしっかりと支える
②アダプタのレバーをロック解除方向に
スライドさせ、解除する。
③本体をゆっくりと下げて、外す



3

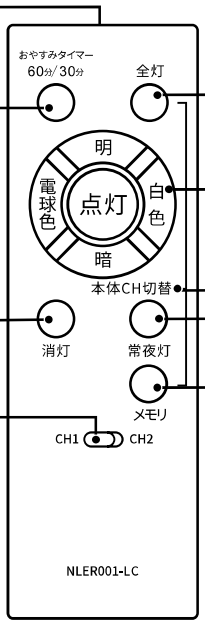
アダプタを外す

赤いロックボタンを押しながら、左に回す



各部のはたらき

リモコン



ＬＥＤ送信部
操作する時は、ここを照明器具へ向けてください。

ゆっくりおやすみタイマー（30分、60分）（☞7ページ）
30分後または60分後に照明を消灯させます。

消灯（☞7ページ）
照明を消灯させます。

チャンネル切換（☞8ページ）
器具のチャンネルを選択します。

全灯（☞7ページ）
LEDが昼白色、明るさ100%で点灯します。

点灯（☞7ページ）
「点灯」ボタンに記憶させた明るさと色で点灯します。
工場出荷時は明るさ約70%が記憶されています。

明・暗（☞7ページ）
明るさを調整します。
全般照明：100%～約5%

電球色・白色（☞8ページ）
光色を調整します。電球色～昼光色

本体チャンネル変更（☞8ページ）

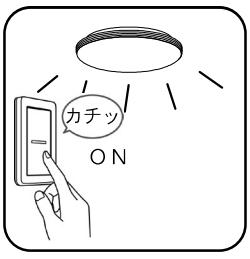
常夜灯（☞7ページ）
常夜灯（ＬＥＤ）が点灯します。

メモリ（☞8ページ）
明るさと色をメモリ（記憶）する時に使用します。

あかりをつける

壁スイッチで操作

■ 点灯・消灯する



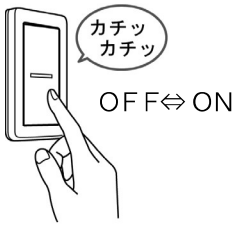
前回と同じ点灯状態で点灯します。

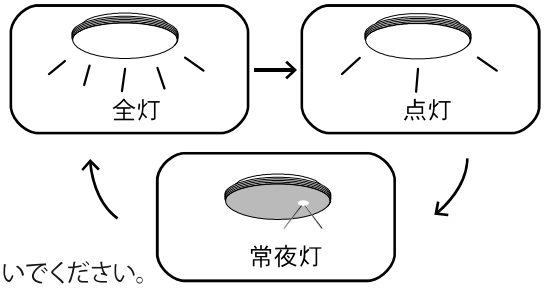


消灯します。点灯状態（明るさ）が記憶されます。

■ 点灯状態を切り替える

● 壁スイッチを１秒以内にＯＦＦ⇔ＯＮすると、点灯状態が以下の通りに切り替わります。





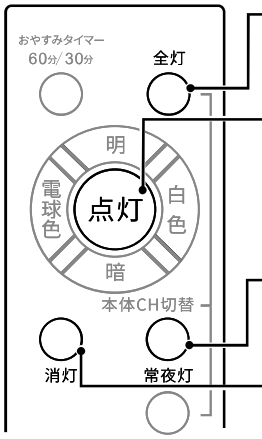
● 一つの壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。
同時に切り替わらない場合があります。

お知らせ

- 壁スイッチを「ＯＦＦ」にする前にリモコンで消灯した場合は、再び壁スイッチで「ＯＮ」にすると、常夜灯が点灯します。
- 壁スイッチで切り替えて常夜灯を点灯した場合は、リモコンで設定した常夜灯の明るさで点灯します。（☞7ページ）

リモコンで操作

リモコンは照明器具の壁スイッチがＯＮの時に使うことができます。



■ 全光点灯します

●消灯した状態からは、ゆっくり点灯します。

■ 点灯します

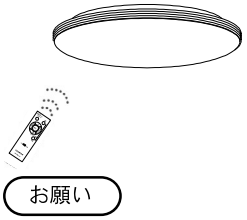
●点灯ボタンに記憶させた明るさと色で点灯します。
「点灯」ボタンに記憶させる方法は、
「明るさと色のメモリ」の項をご覧ください。（☞8ページ）

■ 常夜灯が点灯します

●調整した常夜灯の明るさで点灯します。

■ 消灯します

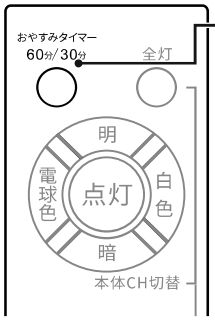
●点灯した状態からは、ゆっくり消灯します。



お願い

- リモコンの送信部を照明器具に向けて操作してください。

タイマー予約 … ゆっくりおやすみタイマーの予約のしかた



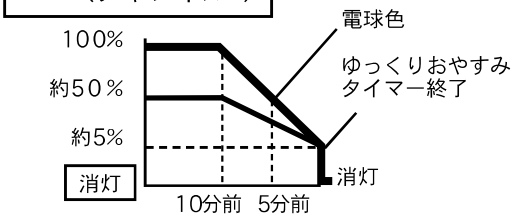
■ 「60分/30分」を押す

● 1回押すと「ピピッ」と2回音が鳴り、30分後に消灯します。

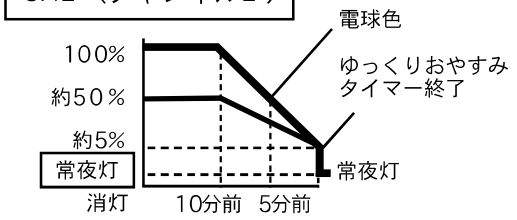
● さらに1回押すと「ピピピッ」と3回音が鳴り、60分後に消灯します。
（押すごとに切り替わります）

チャンネル設定によって消灯または常夜灯点灯が選べます。
設定した時刻の約10分前から少しずつ暗くなります。

消灯にする場合
CH1（チャンネル1）



常夜灯にする場合
CH2（チャンネル2）

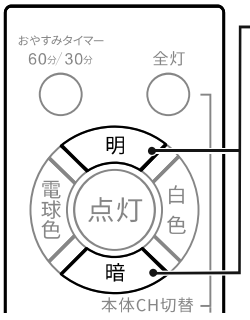


お知らせ

- ゆっくりおやすみタイマーを解除する場合は、点灯ボタン（「全灯」「点灯」「常夜灯」など）を操作してください。
- 常夜灯が点灯している時にゆっくりおやすみタイマーを設定した場合、チャンネル設定が「CH1」「CH2」どちらの場合でも、30分後または60分後に消灯します。この場合、ゆっくり暗くなりながら消灯しません。
- チャンネル設定のしかたは、☞8ページ「チャンネルの合わせかた」をご覧ください。

明るさの調整

明るさは100%～約5%、常夜灯は6段階の調整ができます。



■ 照明が点灯している状態で、「明」または「暗」ボタンを押す

● 1回押すと、1段ずつ明るさが変化します。

● 押したままにすると、連続して調整できます。※1

● 1回ずつ押して、明るさが上限・下限に達し、これ以上の調整ができないお知らせとして「ピピッ」と音が鳴ります。※2

※1 冬季など周囲の温度が低い場合、点灯直後は連続して調整できないことがあります。
その場合は、1回ずつ押して調整してください。

※2 「明」または「暗」を押したままにすると、それぞれの明るさの上限・下限のお知らせとして「ピッ」と音が鳴ります。

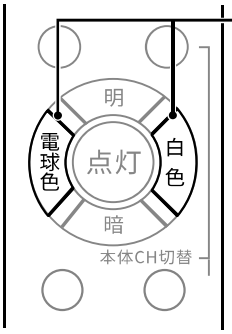
光　色	明るさの段階
昼白色（全灯）	20段階（約5%～100%）
電球色	19段階（約5%～約70%）
昼光色	20段階（約5%～約100%）
常夜灯	6段階

お知らせ

- 常夜灯の明るさは、常夜灯が点灯した状態で調整してください。調整した明るさは、メモリ（記憶）されます。
- 消灯状態で「明」ボタンを押すと消灯前の光色の下限の明るさで点灯します。

色の調整

照明の色を涼しげな白色やあたたかみのある電球色に変えることができます。



■「白色」または「電球色」ボタンを押す

- 1回押すと、1段階ずつ電球色、または昼光色に近づきます。（光色の段階：21段階）
- 押したままにすると、色が連続して変化します。※1
- 1回ずつ押して、色が昼光色・電球色に達し、これ以上の調整ができないお知らせとして「ピピッ」と音が鳴ります。※2

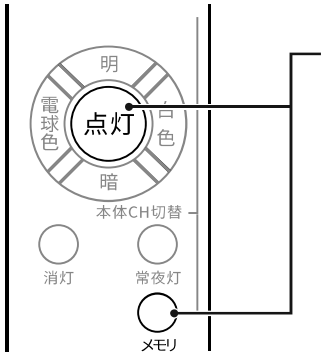
※1 冬季など周囲の温度が低い場合、点灯直後は連続して調整できないことがあります。その場合は、1回ずつ押して調整してください。

※2 「白色」または「電球色」ボタンを押したままにすると、昼光色・電球色に達し、これ以上の調整ができないお知らせとして「ピッ」と音がなります。

お知らせ
- 常夜灯の場合は、「白色」「電球色」ボタンを押しても色の調整はできません。

明るさと色のメモリ

お好みに調整した照明の明るさと色を点灯ボタンにメモリ（記憶）させることができます。



■メモリしたい明るさと色で点灯し「メモリ」ボタンを押しながら、「点灯」ボタンを押す

- 「ピーッ」と音が鳴って、現在の調光・調色状態がメモリされます。
- すでにメモリした設定を変更する場合は、同じ手順を繰り返してください。

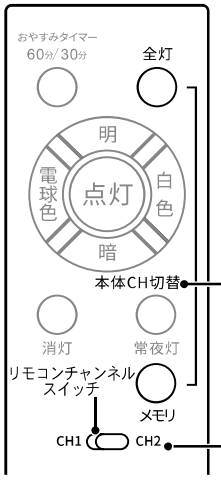
お知らせ
- 工場出荷時は、以下に設定してあります。
  点灯：明るさ約70％

チャンネルの設定方法

チャンネルの合わせ方　同一の照明器具を2台使用する場合

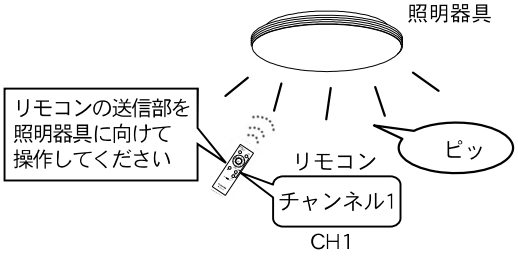
お買い上げ時（工場出荷時）は、照明器具・リモコンのチャンネルは「CH1」に設定してあります。

■照明器具とリモコンのチャンネルを「CH2」にする場合



1 リモコンで照明器具が操作できるか確認する

- リモコンのチャンネルスイッチが「CH1」で、全灯・点灯・消灯の操作ができれば、照明器具のチャンネルは「CH1」の状態です。



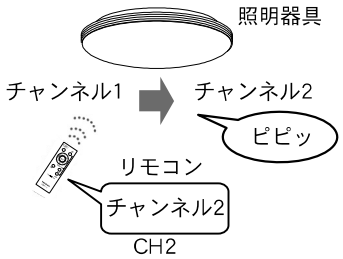
2 「メモリ」を押しながら「全灯」を押す

- 「ピピッ」と音が鳴って、照明器具のチャンネルが「CH2」に変更されます。

3 「リモコンチャンネル」スイッチを「CH2」に合わせる

- リモコンのチャンネルスイッチが「CH2」で、全灯・点灯・常夜灯・消灯等の操作ができることを確認してください。
- 再度設定を「CH1」に変更する場合は、手順2を行い、リモコンチャンネルスイッチを「CH1」に合わせてください。

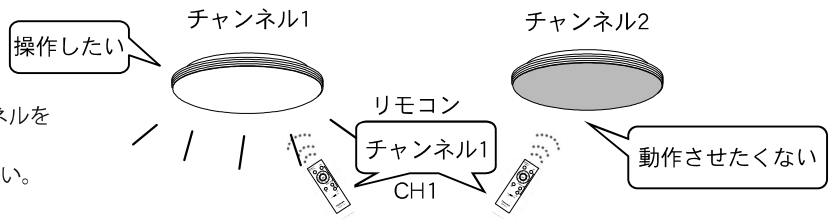
※ チャンネル「CH2」から「CH1」に変更する場合は、手順2を行った時に「ピッ」と音が鳴ります。



■2台の照明器具を一つのリモコンで個別に操作する場合

● 2台の内1台の照明器具を、手順1～3までの操作で照明器具のチャンネルを「CH2」にしてください。

※ 照明器具が2台設置されていて、それぞれの本体チャンネルを「CH1」と「CH2」にする場合、1台の照明器具の壁スイッチはOFFにしてから、手順1～3を操作してください。



故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置	参照ページ
本体が取り付かない	アダプタが正しく取り付いていない	①アダプタを外し ②再度、アダプタを取り付ける	6ページ 3 4ページ 2
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度外し、 ②本体を押し上げてから ③コネクタを再度、差し込む	6ページ 1 4ページ 3 5ページ 5
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする、または、壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONにする	6ページ「壁スイッチで照明器具を操作する」
勝手に点灯する	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき、点灯状態が切り替わった可能性がある	壁スイッチをOFFにする	—
		リモコンもしくは壁スイッチ操作で点灯モードを切り替える	6～7ページ「あかりをつける」
勝手に消灯する	「おやすみタイマー」がONになっていた	「おやすみタイマー」をOFFにする（「おやすみタイマー」で消灯すると「おやすみタイマー」はOFFされます）	7ページ「タイマー予約」
リモコンで操作できない	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	3ページ「各部のなまえと付属部品」
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する	8～9ページ「チャンネルの設定方法」
リモコン操作時にちらつく	調光、調色動作をしている	調色、調光(下限付近)動作時、ちらつく場合がありますが異常ではありません。調色、調光動作が終わるとちらつきも止まります。	

上記の処置を行っても現象が続く場合

①電源をいったん切り、約20秒以上経ってから再び電源を入れる
②器具のチャンネルを変更する　☞ 8～9ページ「チャンネルの設定方法」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、または弊社「CSセンター」にご連絡ください。

お手入れについて

安全のため、電源を切ってから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。

●汚れがひどい場合は、中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

●木材、紙、布等の場合は水拭きせずに、やわらかい布またははたきで、こまめにホコリを落としてください。

●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

確認 シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ　故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】
- ●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- ●天井の材質や構造によっては、天井面が変色することがあります。
- ●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
  長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
- ●壁スイッチがないとリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
- ●壁スイッチがONの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
- ●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- ●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- ●位置表示灯スイッチ(ほたるスイッチ等)を使用する場合は表示ランプの点灯が遅くなることや若干ちらつきが発生する場合があります。

【リモコンの留意点】
- ●リモコンを落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないでください。故障の原因となります。
- ●照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、
  リモコンが正常に動作しないことがあります。
- ●リモコンで消灯した後に停電が発生した場合、全光点灯などになることがあります。
- ●リモコンからの信号を照明器具が受信したときに、常夜灯がちらつく場合があります。
- ●電池は半年を目安に取り替えてください。
  その際は、必ず同時に2本とも新しいものに交換してください。

※付属の乾電池は最初に使用するために用意しているもので、半年に満たないうちに消耗する場合があります。
- ●長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を外してください。
  液漏れなどでリモコンを傷める原因となります。

【周囲の影響】
- ●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- ●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
- ●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
- ●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。

仕様

品番	使用電圧	周波数	最大消費電力（昼白色時）		入力電流
DCL-42112・DCL-42115	AC100V	50/60 Hz共用	27.1W	リモコンOFF時(待機時状態) 1W以下 常夜灯のみ 約1W	0.28A
DCL-42113・DCL-42116			31.1W		0.32A
DCL-42114・DCL-42117			35.5W		0.36A

●調色機能により消費電力が変わります。

●LEDの光束維持時間は、40,000時間です。（LEDが点灯しなくなるまでの総点灯時間または、器具光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。LED照明器具の保証期間ではありません。）

●品番は器具本体表示をご参照ください。

保証について

1．保証について
この商品の保証期間は3年です。
但し、消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
※保証期間の例外
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

2．保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3．補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1．明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目
- LEDが切れていませんか。
- 正常に点灯しますか。
- 天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃（安全のため、電源を切ってから行ってください。）
器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 木材、紙、布等の場合は水拭きせずに、柔らかい布またははたきで、こまめにホコリを落としてください。
- シンナー、ベンジン等の揮発性のものは使用しないでください。

2．異常時の処置
異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。
(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談は CSセンター（0570）003-937（ナビダイヤル全国共通）へご連絡ください。
受付時間(月～金曜)9：00～17：00　土･日･祝日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。

大光電機株式会社 〒541-0043　大阪市中央区高麗橋3-2-7　高麗橋ビル6F